

「宗教と社会」学会「インターネットと宗教」プロジェクト

研究会：「インターネットがもたらす宗教的共同性への求心力と遠心力」

ご案内

電子ネットワーク自体が、斬新性によってではなく日常性によって語られる状態に変化してきました。特にインターネットに主眼をおかない宗教研究をしても、電子ネットワークの影響に遭遇する事態があったり、教団信者への電子ネットワーク利用についてのインタビューをしても、すでに利用は当たり前になっていて、話題を掘り起こすのに時間がかかるような事例もできます。日常化することによって、電子ネットワークの影響はより大きくなり、より広がっています。そのことを解釈する試みをするべきだと考えました。これまでの研究会は個々の研究者の自由な研究報告でしたが、今回はテーマを設けて、インターネットに代表される電子ネットワークが宗教に与える影響についての理論的な分析を試みます。

研究会のテーマは「インターネットがもたらす宗教的共同性への求心力と遠心力」です。電子ネットワークは、宗教的共同性に対して、求心力と遠心力の双方を与えていると考えられます。求心力の例としては、たとえばバチカンのウェブサイトによって世界中のカトリック教会が同時に同一の情報を入手している情報集中や、多くの集団でウェブサイトやメーリングリストなどが、共同性の強化に役割を持っている例を考えることができます

また遠心力については、英語圏に見られた「サイエントロジー対ネット」抗争や、TMの脱会者による秘密のマントラの暴露、日本でもあるエホバの証人の脱会プロセスへの関与、などをあげることができるでしょう。電子ネットワークによる情報アクセス可能性の均一化と、対面の社会関係とつながりながら独立している電子ネットワーク上の人間関係は、上記のように矛盾する影響を宗教的共同性に対して同時に与える結果になっています。これに付随する問題として、電子ネットワーク空間上に形成される情報のたしからしさ、価値判断の傾向などについても考えることが必要でしょう。その理論化の足がかりとして、昨年夏に『インターネット空間の社会学 情報ネットワーク社会と公共圏』

(世界思想社)を著された気鋭の社会学者、吉田純氏(京都大学文学部助手)を招き、書評の形で問題を整理・共有することから始め、次に求心性と遠心性を見いだすことができる事例の報告を通して、全体的に議論を深めたいと思っています。

プロジェクトメンバーで無くても是非おいでください。より多くの方のご参加をお待ちしております。
プロジェクト代表 田村貴紀

スケジュール

日時・場所

2001年3月10日(土)午後1時から午後6時 発表及びディスカッション

2001年3月11日(日)午前9時から正午 西本願寺によるインターネット利用見学会

場所：浄土真宗西本願寺本願寺 浄土真宗本願寺派宗務所2階 研修室1・2

〒600-8501 京都市下京区堀川通花屋町下ル

Tel(075)371-5181(代) Fax(075)351-1372 (地図は文末)

3月10日

司会 田村貴紀

1:00-2:10

黒崎浩行(國學院大學日本文化研究所)

(書評) 吉田純氏著『インターネット空間の社会学 情報ネットワーク社会と公共圏』

書評(20分)リプライ(20分)全体討議(30分)

2:10-2:20	休憩
2:20-3:00	深水顕真「現代宗教の救い(癒し)の構造 インターネットに見る既存宗教の限界」 (発表 30 分・質疑応答 10 分以下同様)
3:00-3:40	猪瀬優理「脱会プロセスにおける情報形態による利用と効果の違い」(仮題)
3:40-4:20	Erica Baffelli, God on the Web: Communication, Religious Activity and Marketing
4:20-4:30	休憩
4:30-5:10	紀藤正樹「宗教事件の事例から見た、宗教サイトの求心力と遠心力」
5:10-6:00	全体討議

3月11日

9:00 西本願寺のインターネット利用見学・意見交換

ホームページ担当専門委員からのご説明をいただき、その後質疑に応じていただきます。(ご参考:西本願寺URL <http://www.hongwanji.or.jp/>)

発表概要

黒崎浩行(國學院大學日本文化研究所) (書評) 吉田純氏著『インターネット空間の社会学 情報ネットワーク社会と公共圏』

インターネットは宗教をどう変えるか、変えないか。(2)インターネットはどのような社会空間か。われわれは基本的に(1)に関心を持ちつつ、同時に(2)も引き受けようとした。(2)の答えが収束するまで(1)に答えるのは時期尚早というコメントを受けながら、その道はとらなかったが、その理由づけはこれまで不十分だったように思う。

実は、CMCの社会科学研究には(2)について大きな考え方の対立 電子民主主義の実現か、欲望と権力のあくなき追求か がある。吉田氏の著書『インターネット空間の社会学』はこの論争状況を明示しつつ、前者を支持する立場から両者を批判的に検討し、さらにこれをハーバーマスの「公共圏」論をめぐる議論と重ね合わせることで、近代社会全体を射程に置くという論構成をとっている。この議論への接近を試み、とくに今回のテーマである「宗教的共同性への求心力と遠心力」に関連する事例・研究に即しながら、この議論に対して何が言えるかを検討する。それを通じて、(1)・(2)の問いを同時に引き受けることの意義を明確にしていきたい。

(参考文献)

・吉田純『インターネット空間の社会学』世界思想社、2000年。(吉田純氏のウェブサイト <http://www.socio.kyoto-u.ac.jp/~jun/>)

・黒崎浩行(編)・葛西賢太・川島堅二・田村貴紀・深水顕真『電子ネットワーキングの普及と宗教の変容』黒崎浩行、2000年。

頒布をご希望の方は角3型封筒に310円分切手を貼り、〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 國學院大學日本文化研究所 黒崎浩行宛てにお送りください。

・黒崎浩行「現代のメディア・コミュニケーションにおける宗教的共同性 キリスト教系メーリングリストの場合」大谷栄一・川又俊則・菊池裕生編『構築される信念 宗教社会学のアクチュアリティを求めて』ハーベスト社、2000年、86-109頁。

深水顕真(広島大学大学院社会科学研究所博士後期課程)現代宗教の救い(癒し)の構造 インターネットに見る既存宗教の限界

本発表では、ある寺院ウェブサイトの利用者であるI氏へのインタビューから議論をはじめ。まず、夫を亡くしたI氏が、どのように宗教的にインターネットを利用しているかを捉える。そこでは、I氏が宗教的な救いをインターネットから得ていることを見ることができる。

一方ではこうしたI氏の宗教的な求めに対して、既成の宗教側はどのような救済財を提供しうることについて検討する。具体的には、既成宗教のインターネット上の活動を概括し、既成宗教の現実の活動をまとめる中で、その提供しうる救いについてまとめる。

この両者を比較すると、I氏の求める救いと既成の宗教が提供する救いに齟齬が生じていることが分

かる。

その最大の差異が、インターネットの持つ対話的要素、相互作用、包み込まれる感覚の救いの効用である。この既成宗教が失った相互作用こそに救いの作用があったのではないか。この比較から宗教にとっての「救い」とは何なのかに議論を進めてゆきたい。

主な業績：

「宗教ウェブサイトの実力 広島県内の寺院・教会の事例より」『宗教と社会』平成12年6月 第6号 pp.47-60

猪瀬優理（北海道大学大学院）「脱会プロセスにおける情報形態による利用と効果の違い」（仮題）

事例対象はものみの塔聖書冊子協会（エホバの証人）から脱会した信者たちである。これまで目にみえていた脱会者は脱会カウンセリングをうけた人々であった。しかし脱会者というのはこのような脱会カウンセリングを受けた人々だけではなく、むしろ自発的な脱会者が相当な数存在していると見られている。彼ら・彼女らの存在は、長年、隠れて目にみえない存在であったが、近年のインターネットの普及により、様相が変わってきた。インターネットを共通の経験をもった元信者同士の出会いの場として形成し、利用する動きがでてきているのである。本発表では、対面的状況、およびインターネットを通じて得た元信者を対象者として、脱会のプロセスにおいて、どのような情報が脱会の方向へと促す効果をもっていたのかに注目する。

具体的には、元エホバの証人経験者のインターネット利用者の多くが利用している情報提供を主目的としたホームページと、主に二世信者を対象にして話し合いを提供する掲示板を中心としたホームページ、それから元信者同士の個人的な交流を前提として閉鎖的につくられているメーリングリストの利用の仕方と、それぞれが脱会のプロセスにおいて、どのような効果を持っているのかを利用者たちから得られたインタビューデータを元に比較検討する。同時に、書籍による情報の利用と効果についても比較する。

主な業績：

雑誌論文

『現代社会学研究』第13号 投稿論文 題目「宗教集団における『ジェンダー』の再生産 - 創価学会員の入信動機に注目して - 」

報告書

科学研究費報告書,2000a,「新聞・雑誌記事に見る宗教と性差別問題」,櫻井義秀編『教団研究の今日的課題』: 55-67

科学研究費報告書,2000b,「創価学会における信仰継承 - ブール代数分析を用いて」,櫻井義秀編『教団研究の今日的課題』: 89-102

科学研究費報告書,2000c,「教団内性別組織による信者の信念体系受容強化に与える影響」,櫻井義秀編『教団研究の今日的課題』: 103-125

宗教におけるインターネットの利用に関係した発表としては、2000/11/10 第73回日本社会学学会学術大会 自由発表「脱会プロセスにおける情報の利用ーインターネット情報の効果」(今回の発表の基盤となる発表です)

Erica Baffelli, God on the Web: Communication, Religious Activity and Marketing (Collaboration as assistant with prof. Massimo Raveri at "Ca' Foscari" University, Venezia)

The Internet offers new possibilities for proselytisation, communication and international cooperation and on my research three factors of analysis have been characterized:

the communication through the Internet, considering in what way the group is in contact with the visitors, which is suggested by the links and by the languages into which the hypertexts are translated.

The religious activity on the Internet, that is the possibilities offered (and the modifications brought) by the Net to a site's visitor such as religious pilgrimage, sacred iconography and writing. The religious marketing, the suasive strategies applied to attract new visitors and "to sell" religious products.

By selling benefits (and goods) by Internet the relationship between the religious group and believers could seem a "commercial relationship": the believer become a "spiritual resource consumer" and the group a "provider of information services".

主な業績：

“Ca’ Foscari”, Oriental Studies University Venezia, Italy Degree in Japanese Culture and Language (110/110) Graduation Thesis: “God on the Web: Japanese Religions and the Internet” Tutors: Prof. Massimo Raveri, History of Religions, Japanese Religions and Philosophy, “Ca’ Foscari” University Prof. Mario Nordio, History of Asia, “Ca’ Foscari” University

紀藤正樹（弁護士）「宗教事件の事例から見た、宗教サイトの求心力と遠心力」

（これまでのさまざまな宗教事件に弁護士として関わった経験から、テーマに即した事例の報告とそれへの観察を話していただきます。 田村）

地図



JR・京都駅より市バス利用の場合、烏丸中央口前バスターミナルから9番, 28番, 75番（西賀茂車庫行など）に乗車、3つめの『西本願寺前』で下車。阪急電車利用の場合四条河原町より市バス207番、四条大宮よりは市バス6番、18番, 206番, 207番に乗車、『島原口』で下車。京阪電車・七条駅より市バス206番、208番に乗車、『七条堀川』で下車。タクシー利用の場合行き先は「西本願寺」とご指示ください。JR 京都駅からは数分、阪急四条大宮駅、京阪七条駅からは約10分です。

宿泊

3月10日（土）の宿泊に関しては、廉価な門徒会館への宿泊を一泊朝食つき5000円・（8人部屋、バス、トイレ共同・消費税別）でまとめて申し込みますので、ご希望の方は深水顕真（E-mail JBE00332@nifty.ne.jp）までメールください。